

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	日本語の依頼表現における丁寧度の選択
Author(s)	ズルフィカル ラーマン,
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集, 32期 : 1 - 18
Issue Date	2017-11-30
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00044665
Right	
Relation	



日本語の依頼表現における丁寧度の選択

ズルフィカル・ラーマン

1. はじめに

漫画やアニメでは「女性らしい言葉」、あるいは「男性がよく使う言葉」と感じられるものが確かにある。例えば、『ドラエモン』というアニメではノビタのママは「～かしら」をよく使っている。しかし、『ナルト』というアニメでは大蛇丸（オロチマル）という男性が「～かしら」をよく使ってもいる。この場合、「オロチマル」というキャラは男性だが、言葉は女性的で、男らしくない。これは「オネエ言葉」と言われる。

一方、依頼表現には「～てくれ」のような頼み方がある。これは男性がよく使い、女性はやめたに使わないようだった。そのような使い方の違いに興味を持ち、今回の留学前に書いた大学の卒業論文（既に提出済みで、この留学が終わって帰国したら卒業する予定）ではジェンダーによる言葉の使い方の違いを参考文献で調べて書いた。

その卒業論文では『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』と『Advanced Japanese: Communication in Context』を参考文献として使ったのだが、今回日本に来てすぐ、そこから 25 個の依頼表現を集め、それらの使い方について広島大学の学生を対象にアンケートを行ってみた。すると、ジェンダーによる依頼表現の使い分け、違いはごくわずかしがなく、依頼表現において「男性らしい」言葉と「女性らしい」言葉を区別するのは困難だった。

依頼表現はほんとうにいろいろあり、日本人は相手と場面に合わせて使い分けている。敬語は尊敬語、謙譲語、丁寧語に、また文体は丁寧体、普通体に分類されているが、これらを組み合わせるだけでも丁寧の度合はさまざまに表せるだろう。しかし、論理的に区別、定義される丁寧な表現は多くても、外国人の日本語学習者はどれも同じように単に「丁寧」としか認識できない。

例えば、日本語教科書で「～ていただけませんか」と「～てくださいませんか」はそれぞれ謙譲語、尊敬語と区別されているが、敬語ということでは変わらないこの二つは同じように「丁寧・敬意」を表すとしてしか考えようがない。どちらがより丁寧かという比較や定義はされていない。

しかし、先の広島大学で行ったアンケートの回答者のコメントには「敬語、尊敬語、謙譲語、丁寧語」だけでなく、「すこし丁寧、もっと丁寧、できるだけ丁寧、丁寧すぎる」

という言葉がよく使われていた。日本人はどちらも使える場面で、**主観的**になのだろうか、「丁寧・敬意」に差があると感じているようだった。それは、一つの依頼表現の構成要素を他のものに交換したり、何かを付加したりすることで「丁寧」という効果が変わることだ。

そこで、今度は依頼表現がどのようなパーツから作られているか、その構造を考察しようと考えた。この研究では構成要素が一部異なる依頼表現を二つずつ比較する2回目のアンケートを行い、丁寧の度合いがどのように感じられるかを調べてみることにした。

2. 依頼表現の基本

依頼表現とは話者の願望のために何らかの行動をすること、しないことを相手に頼む表現である。命令が話者の願望を直接表すのに対して、依頼は相手に間接的にそれを伝える。さまざまな表現があるが、世界中でよく使われている日本語教科書『みんなの日本語』(注)には「～てください」、「～てくださいませんか」、「～していただけませんか」の三つしか出てこない。おそらくこれらが標準と考えられているのだろう。

A. 「～てください」

これは相手に敬意を表す丁寧な依頼表現で、もっともよく使われる。丁寧な頼み方だが、直接的とも感じられるので、丁寧な命令とも言えるだろう。

1. (係員が外国人に) それじゃ、ここに名前と住所を書いてください。
2. (先生が学生に) ドアを閉めてください。¹

これはすこし改まった頼み方で、主に自分より目上の人に対して使われている。また、名詞化し尊敬の「お」を加えた「お～ください」という構成もある。²

3. (入り口の張り紙) 靴を脱いでお上がりください(上がってください)。
4. (レストランで店員が) 満席ですので、しばらくお待ちください(待ってください)。

B. 「～てくださいませんか」

これは相手の意向を尋ねる依頼表現である。やや間接的な頼み方になるので、丁寧の度合いが高く、重い依頼に使ってもいい。

7. もしできれば、来週引越しを手伝ってくださいますませんか(>ください)。
8. (駅の売店で) 千円札に両替してくださいますませんか(>ください)。

A, Bは動作や状態の主体を高めるために使われる**尊敬語**であり、普通は自分より目上の人にしか使われない。

C. 「～ていただけませんか」

これは「～てくださいませんか」と同じ場面で使える**謙譲語**である。謙譲語は主体の行動を低めることによって相手に対する敬意を表す表現である。

9. お手数ですが、荷物は職場の方に送っていただけませんか (>てくださいませんか)
10. その仕事は私にやらせていただけませんか³ (>てくださいませんか)

第2版『みんなの日本語 II』には「くれませんか／くださいませんか／いただけませんか」が出て来るが、英語解説ですこし説明されていても⁴、授業では教えてもらわなかったし、選び方に関する練習問題、テスト問題はなかった。

3. 研究の展開

(1) 留学前の理解

先に書いたように、日本に来る前に大学に提出した卒業論文では依頼表現の主な使い方について調べた。その時、『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』と『Advanced Japanese: Communication in Context』という本を参照し、そこに紹介されていた25個の依頼表現が相手に合わせてどのように選ばれるかを、会社の中が舞台のアニメ⁵で見してみた。すると、ほとんどの場合「～てください」が使われていたため、教科書に書かれているとおりが「丁寧でもっとも安全な頼み方」としか結論できなかった。

(2) 来日して行った1回目のアンケート

卒業論文の結論には満足できなかったため、次は「～てください」以外のさまざまな表現について調べようと考えた。そして、日本に来てから、今度はとりあえず依頼表現にジェンダーがどのように表現されるかを調べるために、日本人学生が相手の男性／女性にどんな依頼表現を使うかアンケートを行った。回答者は男性が12人、女性が12人で、計24人だった。その時、女性は「～てくれ」は使わないだろう、また、男性は女性に対して男性に対するよりも丁寧な頼み方をするだろうと予想した。

その結果、「～てくれ」を使うと答える女性はかなりいて、それは友達に対して25%だったことも予想外だったが、男女による依頼表現の使い方の違いはあるにはあったが、ごくわずかでしかなく、依頼表現においてジェンダーを区別することはほとんどできなかった。ただし、多くの回答者が「もらえますか」と「～ていただけますでしょうか」を比べるようなコメントを書いていた。そして、**授受動詞 (give * receive)** 「～てくれ

る・～てくださる*～てもらえる・～ていただける」では **give** よりも **receive** のほうが丁寧でよく使うようだった。⁶

(3) 2回目のアンケート

1回目のアンケートの回答者のコメントを踏まえ、依頼表現を別の視点から考えることにした。そのアンケートで使った 25 個の依頼表現以外にも、パーツをさまざまに組み合わせたものを加え、分類すると、103 種になった⁷。依頼表現について書かれたどの本でも「尊敬語・謙譲語」には言及されておらず、いろいろな頼み方があることとその使い方しか説明されてない。一方、敬語の説明でも、授受動詞には確かに触れているのだが、依頼表現との関わりについては詳しく説明されていない。

* 依頼表現と日本語文法

日本語教科書では説明されないが、日本語文法について書かれた本には「～てくれる／～てくださる (give)」を使うより、「～てもらえる／～ていただける (receive)」を使ったほうが丁寧度があがると書かれているものがある⁸。また、肯定形を用いるより否定形を用いたほうが、聞き手の意志を尊重した依頼となる、つまり丁寧になるという説明も見つかる⁹。否定形を用いると、話し手が「てくれる」「てもらえる」ことを期待しながら、控えめに依頼していると受け取られるようだ。したがって、聞き手が依頼を承諾する可能性が低い場合や、依頼しにくい目上の人に対して遠慮しながら依頼する場合などは、否定形の方が選ばれやすい。逆に、相手が行う行為を実行することが分かっている場合には、肯定形を用いて、相手の意志を確認するほうがいいようだ。また、疑問文を使った依頼は、文末に「でしょうか」とか「かなあ」のような自問の表現を付加することによって、さらに丁寧にすることができるというような説明がされる¹⁰。

* アンケートの形式

分類した依頼表現は 103 種もあり、多すぎるため、それらを丁寧の度合いに応じて並べてもらうわけにはいかない。そこで二つずつ組み合わせ、その二つで丁寧度の評価がどのように変わるかを調べることにした。パーツの丁寧の度合いについていくつかの文献では触れられてはいるが、その理由までは詳しく説明されていない。日本人は丁寧の度合いが違くと確かに認識していても、ネイティブらしくただ自然に選んでいるだけで、おそらく選んだ理由を説明するのは難しいのだろう。

このアンケートで取り上げた依頼表現は、「～てください」とその言い換えに使える授受動詞「～てくれる／～てくださる **give***～てもらえる／～ていただける **receive**」を使うものだけだ。授と受を入れ替えて比べたり、否定文／肯定文で比べたり、終助詞を付加す

る／しないで比べたりして、二つのどちらを丁寧と感じるか答えてもらい、その評価を分析した。

*** アンケートの結果**

肯定文 * 否定文

		より丁寧	同じ	一番
1	～していただけますか？	1人		2人
	～していただきませんか？	14人		3人

2	～していただけるでしょうか？	2人		1人
	～していただけないでしょうか？	14人		3人

3	～してもらえますか？	2人		
	～してもらえませんか？	15人		

肯定文 * 否定文の比較では大多数の回答者が否定文の依頼表現のほうが丁寧だと感じている。同じと感じる者も否定文のほうを好んでいる。否定文は聞き手の意志を尊重した依頼となり、話し手が期待をしながらも、「控えめ」に依頼していることで、もっと丁寧だと感じているのだろう。【1,2,3】

授(give) * 受(receive)

		より丁寧	同じ	一番
4	～していただけますか？	3人		1人
	～していただけますか？	12人		4人

5	～して下さらないでしょうか？			2人
	～していただけないでしょうか？	16人		2人

6	～してくれませんか？			1人
	～してもらえませんか？	16人		3人

授受動詞 (give * receive) 「～てくれる／～てくださる * ～てもらえる／～していただく」の比較では大多数の回答者が receive を使うほうが丁寧と回答している。相手が主語となる文を使わず、自分が主語になることで、論理上の負荷を相手につけないことが「遠慮」を表すのだろう。同じと感じる者も receive のほうを好んでいる。【4,5,6】

5のみ、同じと感じる回答者の好みが釣り合っているが、これは「丁寧体+でしょうか」によっておそらく丁寧の度合いが最高レベルになっていると感じたためだろう。

命令 * 疑問文

		より丁寧	同じ	一番
7	～してください。	4人		2人
	～してくれますか？	10人		4人

		より丁寧	同じ	一番
8	～してください。	3人		1人
	～してくれませんか？	14人		2人

		より丁寧	同じ	一番
9	～していただけますか？	16人		2人
	～してくれませんか？	2人		

命令 * 質問の比較では大多数の回答者が疑問文を使うほうが丁寧だと感じている。疑問文を使えば、相手が依頼を直接受けず、決定権を持てるからのようだ。同じと感じる者も疑問文のほうが好んでいる。【7,8】

尊敬語の肯定文 * 普通体の否定文の比較では回答者は尊敬語を使うほうが丁寧だと回答した。普通体の否定文（丁寧）を使うよりも、尊敬語の肯定文（丁寧）を使うことで、丁寧のポイントがさらに上がる。同じと感じる者も尊敬語の肯定文のほうを好んでいる【9】

断定（推量なし） * 推量（断定なし）

		より丁寧	同じ	一番
10	～してもらえますか？	19人		1人
	～してもらえるのでしょうか？			

		より丁寧	同じ	一番
11	～してくれるのですか？	1人		2人
	～してくれるのでしょうか？	17人		

		より丁寧	同じ	一番
12	～していただけますか？	3人		
	～していただけますのでしょうか？	17人		

断定（推量なし） * 推量（断定なし）の比較では大多数の回答者が推量のほうが丁寧だと回答している。推量の「のでしょうか」は自問するような言い方になることで、相手に直接依頼しないことになり、「遠慮」を表すのだろう【10,11,12】

終助詞を付加しない*終助詞を付加する

		より丁寧	同じ	一番
13	～してください	19人		1人
	～してくださいよね			

14	～してください	20人		
	～してくださいよ			

15	～してください	13人		3人
	～してくださいね	2人		2人

終助詞を付加しない*終助詞を付加するの比較では大多数の回答者が終助詞を付加しない依頼表現のほうがより丁寧だと感じている。同じと感じる者も終助詞を付加しない依頼表現のほうを好んでいる。「よ/ね/よね」はその行為を要求する姿勢を示し、負荷を相手にかけることによって、丁寧の度合いが下がるのだろう。【13,14,15】

4. おわりに

今回のアンケート調査によって、日本語の依頼表現における丁寧の度合いはただ同じように「丁寧」なのではなく、さまざまな構成要素によって丁寧の度合いが左右されることが分かった。「肯定文⇒否定文」、「授(give) ⇒受(receive)」、「肯定文⇒疑問文」、「断定⇒推量」、「終助詞を付加する⇒しない」といった構成要素は依頼表現をより丁寧にする効果がある。「肯定文*否定文」、「授 give*受 receive」、「推量なし*推量/断定*断定なし」の比較と使い分けについてはそれについて書かれた文献があるのだが、「命令*疑問文」、「終助詞を付加しない*する」の比較と使い分けについては書かれたものがないようだ。しかし、これらの選び方がどうしてそのような効果を持つのか、じゅうぶんな説明はまだできないため、これから明らかにしていく必要があるだろう。

この研究で使ったアンケートの質問は 15 だけではなく、他にもたくさんある。アンケートの別の質問で、「終助詞「かなあ」を付加する*しない」の比較もしているのだが、その回答によると、回答者はこれを付加すると依頼表現がより丁寧になると感じている。また、二回目のアンケートでは依頼表現を文体の視点から考察もした。「のですか」、「のでしょうか」、で使われる「の」によっても丁寧の度合いは左右されるようだ。しかし、このような細かな文体についての考察はおそらく別の研究テーマになるため、ここでは詳しく触れないことにした。

この研究で触れていない依頼表現のパーツはまだいろいろある。機会があれば、複雑な構成の依頼表現についても考察したいと思う。

注：

- 1: 敬語は目上の人に対して使うと説明されているが、自分より目下の人に対しても使われている。それは「目上/目下」は客観的に決まるものではなく、話者の主観によって決まるということなのだろう。
- 2: 名詞化し、尊敬の「お」を加えた「お〜ください」という構成もあり、これは「〜てください」よりも丁寧な依頼表現になる。しかし、この構成は具体的な動詞を用いる必要があり、それではアンケート調査がしにくかったため、この研究では扱わなかった。
- 3: 「使役+いただけませんか」のような構造もあるが、これには別の要因が関わってくるため、この研究では扱わなかった。
- 4: 第2版『みんなの日本語 II』英語解説、P.13、103、115。
- 5: https://ja.wikipedia.org/wiki/LINE_OFFLINE_%E3%82%B5%E3%83%A9%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%B3
- 7:

	いただける	くださる	ください	もらえる	くれる	てちょうだい	て
ますか	いただけますか	くださいますか		もらえますか	くれますか		
ませんか	いただけませんか	くださいませんか		もらえませんか	くれませんか		
ます↑(発音を高くする)	いただけます↑	くださいます↑		もらえます↑	くれます↑		
ません↑(発音を高くする)	いただけません↑	くださいません↑		もらえません↑	くれません↑		
のですか	いただけるのですか	くださるのですか		もらえるのですか	くれるのですか		
ない				もらえない	くれない		
ないか	いただけないか	くだらないか		もらえないか	くれないか		
のでしょうか	いただけるのでしょうか	くださるのでしょうか		もらえるのでしょうか	くれるのでしょうか		
でしょう	いただけるでしょう	くださるでしょう		もらえるでしょう	くれるでしょう		
でしょうか	いただけるでしょうか	くださるでしょうか		もらえるでしょうか	くれるでしょうか		
でしょうね	いただけるでしょうね	くださるでしょうね		もらえるでしょうね	くれるでしょうね		
ないでしょうか	いただけないでしょうか	くだらないでしょうか		もらえないでしょうか	くれないでしょうか		
ますでしょうか	いただけますでしょうか	くださいますでしょうか		もらえますでしょうか	くれますでしょうか		
ませんかでしょうか	いただけませんかでしょうか	くださいませんかでしょうか		もらえませんかでしょうか	くれませんかでしょうか		
よ			くださいよ	もらえるよ	くれよ・くれるよ	てちょうだいよ	てよ
ね			くださいね	もらえるね	くれるね	てちょうだいね	てね
ますよね	いただけますよね	くださいますよね		もらえますよね	くれますよね		
よね	いただけるよね	くださるよね	くださいよね	もらえるよね	くれるよね	てちょうだいよね	てよね
ないよね	いただけないよね	くだらないよね		もらえないよね	くれないよね		
か				もらえるか	くれるか		
かなあ	いただけるかなあ	くださるかなあ		もらえるかなあ	くれるかなあ		
ないかなあ	いただけないかなあ	くだらないかなあ		もらえないかなあ	くれないかなあ		
たい	いただきたい			もらいたい			
たいのですが	いただきたいのですが			もらいたいのですが			
たいのだけど	いただきたいのだけど			もらいたいだけど			
たいなあ	いただきたいなあ			もらいたいなあ			

- 8: 庵功雄・高梨信乃・中西久美子・山田敏弘、初級を教える人のための日本語文法ハンドブック、P.150。
- 9: 仁田義雄、現代日本語文法 3、P.297。
- 10: 仁田義雄、現代日本語文法 4、P.73。

参考文献：

- 『Advanced Japanese: Communication in Context』、石原紀子・前田真柄、Routledge、2010年
- 『げんき』、小川原敏晶、The Japan Times、2016年
- 『現代日本語学入門』、荻野綱男、株式会社明治書院、2016年
- 『現代日本語文法 1』、仁田義雄、くろしお出版、2010年
- 『現代日本語文法 3』、仁田義雄、くろしお出版、2007年
- 『現代日本語文法 4』、仁田義雄、くろしお出版、2003年
- 『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』、庵功雄・高梨信乃・中西久美子・山田敏弘、スリーエーネットワーク、2000年
- 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』、庵功雄・高梨信乃・中西久美子・山田敏弘、スリーエーネットワーク、2003年
- 『日本人研究 No. 3、女が考えていること』、出光宏、至誠堂、1976年

- 『ポライトネス入門』、滝浦真人、株式会社研究者、2008年
- 『みんなの日本語』、小川巖、スリーイーネットワーク、1998年

資料：一回目のアンケート

- インストラクション： 1. 使わない (×)
 2. たまに使う (△)
 3. よく使う (○) (数字はすべて%)

	依頼表現	相手	相手					
			先生		先輩		友人	
			自分男	自分女	自分男	自分女	自分男	自分女
1	お+連用形*+してもよろしいでしょうか	女	× 33.33 △ ○ 66.67	× 8.33 △ 16.67 ○ 75	× 33.33 △ 41.67 ○ 25	× 33.33 △ 41.67 ○ 25	× 100 △ ○	× 100 △ ○
		男	× 33.33 △ ○ 66.67	× 8.33 △ 16.67 ○ 75	× 33.33 △ 41.67 ○ 25	× 33.33 △ 41.67 ○ 25	× 100 △ ○	× 100 △ ○
2	～ていただけませんか	女	× △ 16.67 ○ 83.33	× △ 25 ○ 75	× 8.33 △ 33.33 ○ 58.34	× 8.33 △ 33.33 ○ 58.34	× 100 △ ○	× 100 △ ○
		男	× △ 16.67 ○ 83.33	× △ 25 ○ 75	× 8.33 △ 33.33 ○ 58.34	× 8.33 △ 33.33 ○ 58.34	× 100 △ ○	× 100 △ ○
3	～てくださいますか	女	× 16.67 △ 25 ○ 58.33	× 16.67 △ 41.67 ○ 41.67	× 25 △ 33.33 ○ 41.67	× 41.67 △ 33.33 ○ 25	× 100 △ ○	× 100 △ ○
		男	× 16.67 △ 25 ○ 58.33	× 8.33 △ 41.67 ○ 50	× 25 △ 33.33 ○ 41.67	× 41.67 △ 33.33 ○ 25	× 100 △ ○	× 100 △ ○
4	～ないでくださいますか	女	× 33.33 △ 25 ○ 41.67	× 33.33 △ 58.34 ○ 8.33	× 33.33 △ 41.67 ○ 25	× 50 △ 33.33 ○ 25	× 100 △ ○	× 100 △ ○
		男	× 33.33 △ 25 ○ 41.67	× 33.33 △ 50 ○ 16.67	× 33.33 △ 41.67 ○ 25	× 50 △ 33.33 ○ 25	× 100 △ ○	× 100 △ ○
5	お+連用形+ください	女	× 25 △ 8.33 ○ 66.67	× 8.33 △ 16.67 ○ 75	× 41.67 △ 16.66 ○ 41.67	× 8.33 △ 58.33 ○ 33.33	× 100 △ ○	× 100 △ ○
		男	× 25 △ 8.33 ○ 66.67	× 8.33 △ 16.67 ○ 75	× 41.67 △ 16.66 ○ 41.67	× 8.33 △ 58.33 ○ 33.33	× 100 △ ○	× 100 △ ○
6	お+連用形+できますか	女	× 25 △ 8.33 ○ 66.67	× 8.33 △ 33.33 ○ 58.34	× 41.67 △ 8.33 ○ 50	× △ 25 ○ 75	× 100 △ ○	× 91.67 △ 8.33 ○
		男	× 25 △ 8.33 ○ 66.67	× 8.33 △ 33.33 ○ 58.34	× 41.67 △ 16.66 ○ 41.67	× △ 25 ○ 75	× 100 △ ○	× 91.67 △ 8.33 ○
7	～ていただけますか	女	× △ ○ 100	× △ 8.33 ○ 91.67	× 16.67 △ 33.33 ○ 50	× △ 33.33 ○ 66.67	× 100 △ ○	× 100 △ ○
		男	× △ ○ 100	× △ 8.33 ○ 91.67	× 16.67 △ 33.33 ○ 50	× △ 33.33 ○ 66.67	× 100 △ ○	× 100 △ ○
8	～てくださいますか	女	× 16.67 △ 16.67 ○ 66.66	× 25 △ 33.33 ○ 41.67	× 16.66 △ 41.67 ○ 41.67	× 33.33 △ 50 ○ 16.67	× 100 △ ○	× 100 △ ○
		男	× 16.67 △ 16.67 ○ 66.66	× 25 △ 33.33 ○ 41.67	× 16.66 △ 41.67 ○ 41.67	× 33.33 △ 50 ○ 16.67	× 100 △ ○	× 100 △ ○

9	～てもらえませんか	女	× 16.67 △ 25 ○ 58.33	× 25 △ 33.33 ○ 41.67	× △ 25 ○ 75	× △ 16.67 ○ 83.33	× 91.67 △ 8.33 ○	× 83.33 △ 16.67 ○
		男	× 16.67 △ 25 ○ 58.33	× 25 △ 33.33 ○ 41.67	× △ 25 ○ 75	× △ 16.67 ○ 83.33	× 83.33 △ 16.67 ○	× 83.33 △ 16.67 ○
10	～てくれませんか	女	× 25 △ 16.67 ○ 58.33	× 50 △ 25 ○ 25	× 16.67 △ 8.33 ○ 66.67	× 16.67 △ 33.33 ○ 50	× 83.33 △ 16.67 ○	× 83.34 △ 8.33 ○ 8.33
		男	× 25 △ 16.67 ○ 58.33	× 50 △ 25 ○ 25	× 16.67 △ 8.33 ○ 66.67	× 16.67 △ 33.33 ○ 50	× 83.33 △ 16.67 ○	× 83.34 △ 8.33 ○ 8.33
11	～てもらえますか	女	× 16.67 △ 8.33 ○ 75	× 33.33 △ 25 ○ 41.67	× 8.33 △ ○ 91.67	× 25 △ 16.67 ○ 58.33	× 83.33 △ 16.67 ○	× 66.67 △ 25 ○ 8.33
		男	× 16.67 △ 8.33 ○ 75	× 33.33 △ 25 ○ 41.67	× 8.33 △ ○ 91.67	× 16.67 △ 16.67 ○ 66.66	× 83.33 △ 16.67 ○	× 66.67 △ 25 ○ 8.33
12	～てくれますか	女	× 66.67 △ 8.33 ○ 25	× 58.34 △ 33.33 ○ 8.33	× 16.66 △ 41.67 ○ 41.67	× 33.33 △ 25 ○ 41.67	× 75 △ 25 ○	× 66.67 △ 33.33 ○
		男	× 66.67 △ 8.33 ○ 25	× 58.34 △ 33.33 ○ 8.33	× 16.66 △ 41.67 ○ 41.67	× 33.33 △ 16.67 ○ 50	× 75 △ 16.67 ○ 8.33	× 66.67 △ 33.33 ○
13	～てください	女	× 25 △ 41.67 ○ 33.33	× 41.67 △ 16.66 ○ 41.67	× 8.33 △ 16.67 ○ 75	× 8.33 △ 33.33 ○ 58.34	× 75 △ 8.33 ○ 16.67	× 66.66 △ 16.67 ○ 16.67
		男	× 25 △ 41.67 ○ 33.33	× 41.67 △ 16.66 ○ 41.67	× 8.33 △ 16.67 ○ 75	× 8.33 △ 33.33 ○ 58.34	× 75 △ 8.33 ○ 16.67	× 66.66 △ 16.67 ○ 16.67
14	～てほしいんだけど	女	× 91.67 △ ○ 8.33	× 100 △ ○	× 83.34 △ 8.33 ○ 8.33	× 91.67 △ 8.33 ○	× 8.33 △ 16.67 ○ 75	× △ 16.67 ○ 83.33
		男	× 91.67 △ ○ 8.33	× 100 △ ○	× 83.34 △ 8.33 ○ 8.33	× 91.67 △ 8.33 ○	× 8.33 △ 8.33 ○ 83.34	× △ 16.67 ○ 83.33
15	～ないでください	女	× 33.33 △ 16.67 ○ 50	× 50 △ 33.33 ○ 16.67	× 16.67 △ 16.67 ○ 66.66	× 25 △ 25 ○ 50	× 83.33 △ 16.67& ○	× 66.67 △ ○ 33.33
		男	× 33.33 △ 16.67 ○ 50	× 50 △ 33.33 ○ 16.67	× 16.67 △ 16.67 ○ 66.66	× 25 △ 25 ○ 50	× 83.33 △ 16.67& ○	× 66.67 △ ○ 33.33
16	～てもらえる	女	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× △ ○ 100	× 8.33 △ 25 ○ 66.67
		男	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× △ ○ 100	× 8.33 △ 25 ○ 66.67
17	～てくれない	女	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× △ ○ 100	× △ ○ 100
		男	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× △ ○ 100	× △ 8.33 ○ 91.67
18	～ていい	女	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× △ ○ 100	× △ ○ 100
		男	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× △ ○ 100	× △ ○ 100
19	～てくれる	女	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 91.67 △ 8.33 ○	× △ 8.33 ○ 91.67	× △ 8.33 ○ 91.67
		男	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 91.67 △ 8.33 ○	× △ 8.33 ○	× △ 8.33 ○

			○	○	○	○	○ 91.67	○ 91.67
20	～てくれ	女	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 33.33 △ 16.67 ○ 50	× 50 △ 25 ○ 25
		男	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 25 △ 25 ○ 50	× 41.67 △ 33.33 ○ 25
21	～ないでくれ	女	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 33.33 △ 16.67 ○ 50	× 50 △ 25 ○ 25
		男	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 25 △ 25 ○ 50	× 41.67 △ 33.33 ○ 25
22	～ないで	女	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× △ 16.67 ○ 83.33	× 8.33 △ 8.33 ○ 83.34
		男	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× △ 16.67 ○ 83.33	× 8.33 △ 8.33 ○ 83.34
23	～てよ	女	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 16.67 △ ○ 83.33	× 16.67 △ 16.67 ○ 66.66
		男	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 16.67 △ ○ 83.33	× 16.67 △ 16.67 ○ 66.66
24	～るよ	女	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 91.67 △ 8.33 ○	× 16.67 △ 8.33 ○ 75	× △ 8.33 ○ 91.67
		男	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 91.67 △ 8.33 ○	× 8.44 △ 16.67 ○ 75	× △ 8.33 ○ 91.67
25	～て	女	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× △ 16.67 ○ 83.33	× 8.33 △ 8.33 ○ 83.34
		男	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× 100 △ ○	× △ 16.67 ○ 83.33	× 8.33 △ 8.33 ○ 83.34

* 日本語教育の文法について書かれた本では「連用形」という用語は使われず、「お+Vマス+ください」のような形式がよく使われている。また、正しくは「連用形=マス形 - マス」としなければならないところをただ「マス形」としか書いていない説明も少なくない。

私も「マス形」と教わったため、アンケートでは「マス形」を使った。しかし、これは普通の日本人には理解しにくいということを後で知った。

回答者のコメント

男性	女性
<p>1. どうして女の先生に対して1番～25番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？</p> <p>A. 基本的に目上の方には、丁寧な依頼表現をしますが、特に先生に何かを依頼するような場面では、自分の中で最も丁寧な言い回しを使います。</p> <p>B. 失礼のないように12から25の表現は使わない。 2、3、9、10は相手に押し付けているような感じがするのであまり使わない。</p> <p>C. 1番は自分より地位と年齢が上の人に対して、へりくだるときに言うからよく使う。 2番～10番は自分より地位と年齢が上の人に対して許可を求めるときよく使うから。 11番～15番は自分より地位と年齢が上の人に対して依頼をするときによく使から。 16番～21番は自分より地位と年齢が下の人に対して（例えば部下）丁寧に頼むときの言い方だから自分より地位と年齢が上の人に対しては使わない。 22番～25番は自分と年齢が同じ人に対して言う言葉だから、自分より地位と年齢が上の人に対して使わない。</p> <p>D. 先生は目上の人であり、尊敬すべき人だから。</p> <p>E. 男の先生と女の先生で敬語の表現を変えることはありません。 先生は目上の存在なので、敬意を示す表現を使います。</p> <p>F. 目上の人であるから。 しかし場合によって、正式には失礼かもしれないけれど、少し軽い表現を使ってしまうときはある。</p> <p>G. 年上の人に対しては敬語を使うから</p> <p>H. 女の先生に対して、7、10、11番の表現はよく使います。 男性、女性の性別はあまり関係がありませんが、その三つの表現は目上の人に対して依頼をする際に、最もふさわしい距離感を保った表現方法だと思います。1、3、4、8番はあまりにも丁寧すぎる表現だと思います。そして、14、16～25番は逆に馴れ馴れしすぎて、先生に対する言葉遣いとしてふさわしくないとします。2、5、6、9、13、15番は、先生の中でも今まで話したことがない人に対してであれば使うことがあります。7、10、11番の表現と比べて遠い距離感の人に対してや、かしまった場合に使うことがあると思います。</p> <p>I. 使う：目上の人だから丁寧な言い方でいう。自分は教えてもらう立場であるから。 たまに使う：先生と自分の仲のよさの違いによるから。親しければその表現を使う。 使わない：その言い方は失礼であるから。</p> <p>J. 先生に対する表現方法としては、できるだけ気を使って丁寧な言葉を使って依頼をしようと考えます。先生は友人や先輩よりも尊敬すべき存在だと思っているからです。自分にとっては男の先生も女の先生も尊敬の気持ちは同じなので、依頼の表現方法はほとんど同じです。今までの教育や教えられた考え方の中で、先生とか大人の人にはすごく丁寧なことを使ったほうが良いと教えられたことがある</p> <p>K. 男女の差ではなく先生という目上の立場の人に対して、より丁寧な敬語を使うことを心がけているため</p> <p>L. ジェンダーに関わらず、先生に対してはなるべく丁寧な言葉遣い、敬語を心がける。「～してくれますか」は敬意が足りず不適切だと思う。</p>	<p>1. どうして女の先生に対して1番～25番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？</p> <p>A. 先生には丁寧な表現を使う。2～8については、もっと語尾を丁寧に使う。9以降はくだけすぎ。</p> <p>B. 目上の人だから、敬語を使わないといけない(最高級)</p> <p>C. 先生が男でも女でも、使う表現はあまり変わりません。また、「～てもらえませんか」や「～てくれませんか」は、「～していただけませんか」よりもくだけた表現だと思います。だから私は、先生に対しては「～していただけませんか」を使います。</p> <p>D. 先生は目上の方なので、特にメールでは上にあるように丁寧な言葉を使うべきだと思うから。話し言葉だと、逆に丁寧すぎる表現はあまり使わない。</p> <p>E. 目上の人には敬語を使わなければならない、ため口をきいてはいけないから。 4、10については、このように目上の人に「しないでください」という状況が少ないから。</p> <p>F. 先生に対する尊敬表現として敬語の度合いが相応しいと感じれば使う。～くありませんかに類する表現については、へりくだっているようにも感じられたため△とした。</p> <p>G. ○、使う…丁寧な表現であることが相手にも十分伝わる言葉遣いだと思うから △、たまに使う…○にした言葉に比べて丁寧さを欠いていると思うが、たまにこの言葉を使ってしまう ×、使わない…目上の人には使えない表現だと思うから</p> <p>H. 性別に関わらず、先生は目上の人であるので、2番や5番、7番の依頼表現を使って、できるだけ丁寧に話します。3番や8番を使わないのは、「～くださる」よりも「～いただく」の方が、私が言い慣れているためだと思います。また、メールで何かを依頼する際は、「～いただけますでしょうか。」といった表現を用い、より丁寧な文章を心がけます。</p> <p>I. 謙譲語、尊敬語、丁寧語など組み合わせた表現は、先生に対して使うのに適した表現だからです。逆に、丁寧語は最低限用いないとならないと思います。また、「～してもらえますか」など、さらに丁寧な表現に互換できる表現は改まっていない場では構いませんが、公的な場ではやや適さない表現に感じます。</p> <p>J. 先生方に対しては～です。～ますのような丁寧語で放すことが前提で、そこから場面に応じて発展させて～していただけますか?のような話しかけ方をすべきだと思うため。自分が使える最大の丁寧表現を使うことで、先生方も依頼を受けようという気になってくれるのではないだろうかと思う。これ男女に差はない</p> <p>K. 相手が男性でも女性でも、使う言葉はあまり代わりません。目上の人であれば敬語（尊敬語・謙譲語）を使うことが多いです。先輩には丁寧語を使います。友人には敬語はほとんど使いません。</p> <p>L. △は丁寧すぎるため、会話の場合、学校の先生にはあまり使いません。しかし、メールの中では先生相手でも1-4の表現を使います。○は丁寧すぎず、私用やすい敬語表現なのでよく使います。×は、尊敬ではないため、先生に使いません。先生と話す得は必ず敬語を使います。</p>

<p>2. どうして男の先生に対して1番—25番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？（理由が1番と同じなら「同じ」書いてください）</p> <p>A. 1での記述の内容と同じように基本的に先生にはとても丁寧な言い回しをういます。また、相手の先生の性別は特に気にしません。</p> <p>B. 同じ</p> <p>C. 同じ</p> <p>D. 同じ</p> <p>E. 同じ</p> <p>F. 同じ</p> <p>G. 同じ</p> <p>H. 男性の先生と女性の先生の違いによって、言葉遣いを使い分けた経験はないので、1. の理由と同じです。同じ</p> <p>I. 同じ</p> <p>J. 同じ</p> <p>K. 同じ</p>	<p>2. どうして男の先生に対して1番—25番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？（理由が1番と同じなら「同じ」書いてください）</p> <p>A. 同じ</p> <p>B. 同じ</p> <p>C. 同じ</p> <p>D. 1とほぼ同じですが、性別が違うので、若干かしこまってしまうこともある。</p> <p>E. 同じ</p> <p>F. 同じ</p> <p>G. 同じ</p> <p>H. 同じ</p> <p>I. 同じ</p> <p>J. 同じ</p> <p>K. 同じ</p> <p>L. 同じ</p>
<p>3. どうして女の先輩に対して1番—25番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？</p> <p>A. 先生の場合とは違い、比較的親しい間柄の先輩であれば、先生に何かを依頼する場合よりももう少し砕けた表現を使います。</p> <p>B. 丁寧な言葉遣いは「です」「ます」を最後に付ける、よそよそしくならないように文末以外はフランクな表現にすることが多い</p> <p>C. 1番は自分より地位と年齢が上の人に対して、へりくだるときに言うから使わない。 2番～10番は自分より地位と年齢が上の人に対して許可を求めるときよく使うから使ったり使わなかったり。 11番～15番は自分より地位と年齢が上の人に対して依頼をするときにあまり使わなかったり、使ったりします。 16番～21番は自分より地位と年齢が下の人に対して（例えば部下）丁寧に頼むときの言い方だから自分より地位と年齢が上の人に対しては使わない。</p> <p>22番～25番は自分と年齢が同じ人に対して言う言葉だから、自分より地位と年齢が上の人に対して使わない。</p> <p>D. 先輩は年上の人であり、先生に対してよりはフランクであるが、敬語を使わないといけないから。</p> <p>E. 先生の場合と理由は同じです。</p> <p>F. 基本的には目上の人であるから先生の時と変わらない。しかし、年の差が小さいときは12—15の△をつけたところはよく使う。1—6の△のところは逆に年の差が小さいと使わない。</p> <p>G. 年上の人に対しては敬語を使うから</p> <p>H. 2, 7, 10, 11, 13, 15番の表現はよく使います。先輩に対する言葉遣いなので、ため口になることに気を付けつつも、また大人の人と比べて先輩とは距離感の近い存在なので、そこまで敬語に厳しくなりすぎる必要もないという認識で、これらの表現を使うことが多いです。そのため、1, 3, 4, 5, 6, 8番目の表現は、先輩に対する表現としてはあまりに硬すぎるイメージがあります。今度は逆に、14, 16～25番目の表現は先輩という目上の人に対しては、ため口だと捉えられるので使いません。9, 12番の表現は、2, 7番の表現を代わりに使っているので、たまにしか使いません。</p> <p>I. 使う：年上であるから丁寧な表現を使う。しかし先生よりは親しい関係なので、すごく丁寧な表現ではなくなる。たまに使う：先輩との仲のよさの違いによって変わる。そこまで話したことがない人には、その表現を使う。</p>	<p>3. どうして女の先輩に対して1番—25番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？</p> <p>A. 先生より年が近いので、話し言葉では親しみもこめてややくだいた言葉も使う。</p> <p>B. 目上の人だけど、丁寧すぎると不自然だから</p> <p>C. 先輩は先生よりも年齢や距離が近いので、敬語の中でも少しくだけた表現を使います。先輩に対して先生と同じくらいの敬語を使うと、それも変です。また、男女の先輩どちらにも同じ言葉を使います。</p> <p>D. 先輩も目上の方なので、敬語を使うようにしている。ただ、年齢が近いので、丁寧すぎる敬語は使わない。</p> <p>E. 1と同じ。 5に関しては、先生ほど堅苦しい表現を使う必要はないと思うから。</p> <p>F. 先輩に対しては過剰な敬語表現ではその方に距離を置きたがっている印象や不快感を与えることもあり、適切ではないと感じたため、堅苦しくない程度の敬語表現であるものを○とした。</p> <p>G. ○…丁寧な表現であるから。 △…少し丁寧すぎて距離を感じてしまう表現や、逆に丁寧さがなくて失礼な表現であるから。 ×…先輩に対して使うのは失礼だから。</p> <p>H. どのような集団、関係の先輩によって多少違いはありますが、先輩についても、性別に関わらず丁寧な表現を使います。しかし、1-4番はあまりに丁寧すぎるため、7番の表現を最もよく使います。9, 11, 13番は先輩に使うには少し砕けていると感じるので、仲のいい先輩と直接話している時など以外では使いません。</p> <p>I. 先輩に対しては丁寧すぎると距離を置いているように感じられやすいので、ほどほどに失礼にならない程度の表現を選びます。女の先輩は、使う敬語の種類よりは表情やイントネーション、口調などが重視されやすいように感じるので、敬語はやや丁寧にして、後は他の要素で堅苦しくならないように調整します。</p> <p>J. 先生に対して話ほど堅苦しくはならなくていいと思うが、最低敬語を使って話すべきと思ったから。ただし、砕けた話し方でもいいような仲のいい先輩なら、たまにタメ口で話すこともあるだろう。男女同様。</p> <p>K. 同じ</p> <p>L. 基本的に1番と同じ。○は丁寧すぎ倍敬語なのでよく使います。先生が相手の時に比べて、ランクの低い敬語を使うことが多いです。△は丁寧すぎるためあまり使用しません。xは1～4番は△ノ表現より丁寧であるため、</p>

<p>使わない：その表現では先輩に失礼であるから。</p> <p>J. 先輩に対する依頼の表現としては、先生への表現よりくだけた表現ですが自分より年上の人への尊敬の気持ちを表現するようにしています。そのため、できるだけ丁寧な表現を使います。先輩に関しても尊敬の気持ちは男性と女性も同じなので、表現方法はあまり変わっていません。先輩は自分の中では友達と先生の間で存在で、似たような立場だから先生ほど丁寧な表現は使わない</p> <p>K. 性別に関係なく、先輩という目上の人に対して、敬語を使うことを心がけている。 また先輩でも仲の良い人、そうでもない人がいるため、その差で、言葉も使い分けている。</p> <p>L. 年の近い先輩に対しては、若干緩みはあれど先生と同じ目上の方なので、なるべく丁寧な言葉遣いを心がける。</p> <hr/> <p>4. どうして男の先輩に対して1番—25番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？（理由が3一番と同じなら「同じ」書いてください）</p> <p>A. 同じ B. 同じ C. 同じ D. 同じ E. 同じ F. 同じ G. 同じ H. 同じ I. 先生と同様に、男性・女性の先輩の間で言葉遣いを使い分けたことはないの、3. と同じです。同じです。 J. 同じ K. 同じ</p> <hr/> <p>5. どうして女の友人に対して1番—25番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？</p> <p>A. 先輩や先生と違って友達には、親しみの意味も込めてあまり丁寧な言い回しは使いません</p> <p>B. 1から13は丁寧すぎて使わない。仲の良さの程度にもよるが、特に仲が良いひとには25のくだけた言い方もできる。友達でも16や17は敬意が感じられるので最もよく使う。</p> <p>C. 1番は自分より地位と年齢が上の人に対して、へりくだるときに言うから使わない。 2番～10番は自分より地位と年齢が上の人に対して許可を求めるときよく使うから対象は同じ年なので使わない。 11番～15番は自分より地位と年齢が上の人に対して依頼をするときに使う言葉なので使わない。 16番～21番は自分より地位と年齢が下の人に対して（例えば部下）丁寧に頼むときの言い方だから自分と年齢が同じ人に対しては使わない。（言われた人は上から命令されているように感じてしまうから失礼）</p> <p>D. 友人は同い年であり、敬語を使うと距離が遠く感じてしまうから。</p> <p>E. 男の人を対象とする場合で、言葉遣いを変えたりはしません。 20, 21番の表現は、口語表現として不自然な感じがしました。</p> <p>F. 友人に丁寧すぎる表現を使うのは不自然。 しかし頼みごとをする時など、自分が下手（したて）にできなかったらならない時は△をつけた丁寧な表現は使うことがある。 基本は○をつけたような表現でよい。</p> <p>G. 友達は敬語を使わない</p>	<p>先輩には使いません。5番以降で△は敬語ではないため先輩には使用しません。先輩が相手の時も必ず敬語を使いますが、先生が相手の時に比べて、丁寧どの低い敬語を使います。先輩より先生の方が遠い存在だからです。</p> <hr/> <p>4. どうして男の先輩に対して1番—25番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？（理由が3一番と同じなら「同じ」書いてください）</p> <p>A. 同じ B. 同じ C. 同じ D. 同じ E. 同じ F. 同じ G. 同じ H. 同じ I. 大体は女の先輩と同じ理由ですが、男の先輩の方が敬語に無頓着または堅苦しいと嫌う人が多いので、すこし、軽めの敬語にすることが多いです。 J. 同じ K. 同じ L. 同じ</p> <hr/> <p>5. どうして女の友人に対して1番—25番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？</p> <p>A. 1~5,7~8は友人に使うには丁寧過ぎる。6,9,10,12はメールなどの書き言葉では使う。 11,14,17,18,19,22,24,25は友人にほどよいと思うのでよく使う。 13,15は「ください」という表現が突き放したようで好かないので使わない。 16も友達とはいえもう少し丁寧なほうが依頼には使う安い。20,21は男性的に思う。 23もぶっきらぼうすぎると思う。</p> <p>B. フランクに話せるから、頼むことも楽</p> <p>C. 友人に対して敬語は使いません。</p> <p>D. 友人だと気が楽なので、かしこまらなくてもいいから、自然な言葉や砕けた言葉を使えるから</p> <p>E. 友達には敬語は基本的に使わないから。</p> <p>F. 敬語レベルの高いものは友人という親しい間柄にはふさわしくなく、また友人に限らず命令表現のものはふざけて言うので無い限り依頼表現として相応しくないと感じたため×とした。また、軽い敬語表現は丁寧に依頼したいときや大きな頼み事をするときは使うことがあるため△としている。</p> <p>G. ○…親しく会話できる表現だから。 △…少し距離を感じる、または強い口調であるから。 ×…少し距離を感じる、または強い口調であるから。</p> <p>H. 10番までの表現は友人に対して使うには堅すぎるので使いません。11番、12番、13番については、感謝していること、または申し訳ないと思っていることをより相手に伝えるために使います。直接話している時ではなく、LINE等でやり取りしている時に使います。16番～19番は、一緒にいてちょっとしたお願い（ペンを貸してほしい、トイレに行ってくるから荷物を見てほしい等）をするときによく使います。</p> <p>I. 大勢の前でもなければ、敬語を使うと距離を感じるのほとんど使いません。ですが、「してくれ」などはぶっきらぼうで感じが悪いので、特に頼みにくいことを頼む際には「してもらえる」など少しだけ丁寧に表現します</p> <p>J. 大勢の前でもなければ、敬語を使うと距離を感じるの</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>H. 友人同士の会話なので、1～8 番のような敬語表現は使いません。しかし、9～12 番程度のような丁寧な表現は、友人に対して依頼して申し訳ないときに使うことがあります。15 番も友人にしっかり伝えたいときに使うことがあります。20, 21, 24 番に関しては、方言を使うことにもよるのですが、たまにしか使いません。それ以外の表現は、友人と親しい関係にある場合、使うことは多いです。</p> <p>I. 使う：仲の良い友達であるから。 使わない：仲の良い友達には、丁寧な表現は使わないから。仲がいいので丁寧な表現でなくてもよいから。20 番、21 番は命令口調で少し強めな言い方なので友達にも使わない。</p> <p>J. 友人に対しては、丁寧すぎる表現はあまり使わず、フレンドリーな表現方法を使うようにしています。しかし女性の友人に関しては男性の友人と比べて命令的な表現や強い言い方はしないようにしています。やはり男性の友人の方が何でも言いやすいと感じます。友達に丁寧すぎる表現を使うのは少し恥ずかしいと思うこともあるからだ。友達だとはっきり自分の思いを伝えやすいからだ。</p> <p>K. 性別の差ではなく、友達に対しては、くだけた言い方でお願いする。</p> <p>L. 年齢が同じ友人だと仮定した上で回答した。気心知れた同年代の友人には基本的には敬語を使わない。「～してくれ」は少し上からの強い言葉であり、友人に対してもなるべく使わず「～して」「～してね」などと柔らかく依頼する。</p>	<p>ほとんど使いません。ですが、「～してくれ」などはぶっきらぼうで感じが悪いので、特に頼みにくいことを頼む際には「～してもらえる」など少しだけ丁寧に表現します。</p> <p>K. 同じ</p> <p>L. x は敬語なので使いません。△は 16 番は遠回りな表現なのであまり使いません。16 番より 17, 19 番の表現をよく使います。16 番より直接的だからです。頼みにくいをする時は 16 番を使います。20, 21 番は男性がよく使う言葉だと思います。なので自分はあまり使いません。23 番はきつい言い方なのであまり使いません。いらいらしたときに使います。○は直接的過ぎず、かつ遠回りな表現でもないため、よく使います。</p>
<p>6. どうして男の友人に対して 1 番—2 5 番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？（理由が 5 一番と同じなら「同じ」書いてください）</p> <p>A. 同じ B. 同じ C. 同じ D. 同じ E. 同じ F. 同じ G. 同じ H. 同じ I. 同じ J. 同じ K. 同じ L. 同じ</p>	<p>6. どうして男の友人に対して 1 番—2 5 番の依頼表現を使うのか・たまに使うのか・使わないのか？（理由が 5 一番と同じなら「同じ」書いてください）</p> <p>A. 同じ B. 同じ C. 同じ D. 同じ E. 同じ F. 後の理由に加えて、ある程度の荒っぽい表現なら受け入れられると考えたため 20、21 は△である G. 同じ H. 同じ I. 同じ J. 同じ K. 同じ L. 同じ</p>

二回目のアンケート

依頼表現についてのアンケート

わたしは今日本語の依頼表現について研究しています。研究が進むと、依頼表現の種類が予想以上に多いことに気がきました。すこし違うだけでよく似ている表現は丁寧の度合いが微妙に異なるようです。そこで、この研究をさらに進めるためにアンケートを行うことにしました。

以下に二つずつ比べていますが、あなたはどちらがより丁寧だと感じるでしょうか。「より丁寧」と思うほうに「○」、二つが「まったく同じ」と思う場合は「同じ」に「○」をつけてください。そして、丁寧の度合いが同じと感じる場合、あなたがまず一番に使おうとするほうに「○」をつけてください。

性別： 男性 / 女性 年齢： 歳

	より丁寧	同じ	一番
～してくださいませんか？	1人		2人
～していただきませんか？	14人		3人

～していただけるでしょうか？	2人		1人
～していただけないでしょうか？	14人		3人

～してもらえますか？	2人		
～してもらえませんか？	15人		3人

	より丁寧	同じ	一番
～してくださいませんか？	3人		1人
～していただけますか？	12人		4人

～して下さらないでしょうか？			2人
～していただけないでしょうか？	16人		2人

～してくれませんか？			1人
～してもらえませんか？	16人		3人

	より丁寧	同じ	一番
～してください。	4人		2人
～してくれますか？	10人		4人

～してください。	3人		1人
～してくれませんか？	14人		2人

～してくださいませんか？	16人		2人
～してくれませんか？	2人		

	より丁寧	同じ	一番
～してもらえるのですか？			
～してもらえるのでしょうか？	19人		1人

～してくれるのですか？	1人		2人
～してくれるのでしょうか？	17人		

～して下さるのですか？	3人		
～して下さるのでしょうか？	17人		

	より丁寧	同じ	一番
～してください	19人		1人
～してくださいよね			

～してください	20人		
～してくださいよ			

～してください	13人		3人
～してくださいね。	2人		2人

	より丁寧	同じ	一番
～してくれませんか？	3人		3人
～してもらえますか？	11人		3人

～していただけますか？	18人		1人
～してくれませんか？	1人		

～していただけますか。	9人		1人
～して下さるでしょうか？	9人		1人

	より丁寧	同じ	一番
～していただけませんか？	1人		3人
～していただけないでしょうか？	16人		

～していただけますか？	10人		6人
～して下さるのでしょうか？	4人		

～してもらえませんか？	17人		2人
～してもらえないのですか？	1人		

	より丁寧	同じ	一番
～してもらえる？	11人		1人
～してくれる？	3人		5人

～してもらえる？	9人		3人
～してくれない？	6人		2人

～してもらえる？	5人		3人
～してくれます？	12人		

	より丁寧	同じ	一番
～してもらえる？	18人		2人
～してもらえるよね？			

～してもらえる？	16人		2人
～してもらえるでしょう？	2人		

～してもらえる？	7人		3人
～してもらえるかなあ？	10人		

	より丁寧	同じ	一番
～してくれる？	15人		5人
～してくれるよね？			

～してくれる？	20人		
～してくれ			

～してくれる？	6人		3人
～してくれるかなあ？	10人		1人

	より丁寧	同じ	一番
～してくれるか？	1人		2人
～してくれないか？	15人		2人

～してもらえないか？	6人		1人
～してもらえないかなあ	13人		

～していただけませんか？	14人		3人
～していただけないのでしょうか？	3人		

	より丁寧	同じ	一番
～してもらえるのですか？	20人		
～してもらえないか？			

～してくださらないのですか？			
～していただきませんか？	19人		1人

～していただけないのですか？	8人		3人
～してくださらないのでしょうか？	9人		